

## 第1回あいりん地域のまちづくり検討会議まとめ

\*9月22日の会議で出た意見のまとめですが、確定版ではありません。本日の判別話し合いで内容の確認を行います。

## 労働福祉センターに関すること

## 【更新の方向性について】

(現在の機能を残す・充実させる)

- 職安は、失対手当ての支払いのため必要
- 寄り場、職業紹介の役割、そのものは充実
- 福祉の機能もUP
- 労働というものをきちんと提供することが重要

(新しい機能の提案)

- あいりん職安が仕事の紹介業務を行えるよう、職安スペースを確保し、配慮する
- 居場所・生き甲斐も必要
- 労働者が憩えるフリースペースの機能を持たせること
- センターで住民登録が出来るように
- 大阪府・市が直接雇用してはどうか

## 社会医療センターに関すること

## 【更新の方向性について】

- 社医センは残すべき
- 社会医療センターの将来の役割を考えるべき(地域や年齢等も変化している。必要なものは何か。) それらニーズに応えられる物であってほしい
- お金がない人や保険のない人のまだまだ大事な寄りどころ

## 【確認したいこと】

- 社会医療センターの将来の規模を聞きたい

## 全体に関すること

## 【更新の方向性について】

- 各施設は一緒じゃないとだめか？ばらばらに配置してもよいのでは？
- 各施設はバラバラの方がいい、現在は治安が悪い
- 住宅・医療センター・労働センター3カ所バラバラでどうですか
- 駅前が必要とは思えない
- 短期～長期的なまちの将来像の見通しを反映することが大事
- 本当に建替が必要か
- 解体は特区構想とは無関係？耐震性で待ったなしではないか
- 第一住宅・センターは45歳、45年もの長期にわたって、この地域にある。労働者にとっても、そこに住んでいる人にとってもすごく大事な場所
- 労働者がよりいきいきと生きていくことができれば、この地域はより良くなると住民も思っている
- 今後を考えると労働者は減ってきている
- 各機能をどの程度の規模にするか
- センターを縮小しない
- 小さくすることは反対
- 縮小は良い

## 【既存建物の耐震性能】

- 住宅・医療センターが無くなれば、耐震はOKでは？
- 新築当時は、100年持つと説明があった
- センターの改修・建替えについてそれは本当に必要なのか、その場合、しっかりとしたデータや根拠を示してほしい

## 【駅前の考え方】

- 再開発をするなら新今宮をきれいにしたなら？
- 駅前をきれいにしようと思ったら、センター移転が必要？
- 縮小は良いが駅前に必要とは思えない

## 市営住宅・住まいに関すること

## 【更新の方向性について】

- 市営住宅は移転もありか
- 市営住宅はあそこにある必要はない？
- 津守とかへは行かない
- 近隣での転居を希望する
- 遠方に移ったら、みんな引きこもってしまうのではないか
- 住民みんなで移転したい
- あいりん地域内移転先の場所が知りたい
- 駅が近いから需要があるのでは？
- 現居住者は、近隣の病院や介護施設のお世話になっている
- 住んでいる人の思いを知り、大事にしたい

## 【今までの経緯や繋がり】

- 最初、立ち退きの人が入っている
- 抽選で当たり、入居している
- 日本橋の人たちを移してきた
- 労働者のための住宅ではない
- 昭和45年から、それ以前のバラックから住み続けている人もいる(3世代)
- みんな仲良くひっそりと生きてきた
- 同じ階の同士は、助け合い生きてきた
- たまには喧嘩も、その時は会長が仲裁

## その他

## 【会議の進行について】

- 最初は、いろいろな意見を出し合い、お互いに聴き合うことが大事
- 町会員の意見も大事にしたい
- 永年住んでいる町会員にも目を向けてほしい
- 意見を反映できるものにしたい

## 【まちの現状について】

- 現状は治安などが心配。防犯カメラも自治会として設置する。朝は4:30に起きて、周辺に水まき、座らせないようにしている
- 労働者が全てが悪いともいえない
- 45年にもわたってこの地域でいろんな形で衝突もあったけど共存してきた
- 今後を考えると労働者は減ってきている

労働福祉センターに関すること

【更新の方向性について】

- (現在の機能を残す・充実させる)
- 労働福祉センターに他の機能を足さない
- 日雇労働市場は不可欠
- 労働センターは、釜ヶ崎の地域住民のために使って、就労ベースがベスト
- 寄り場機能は必要
- 労働センターは縮小しても必ず必要
- 労働に関するセンターの機能を共有すること

(新しい機能の提案)

- 労働センターは、就労ベースの使い方の他に、医療・介護支援センターのようなものもあわせるとよい

【確認したいこと】

- 人が集まること(早朝の求人・求職)から生じる事象への対応はどうなる
- 路上求人は、センターと関係はある?ない?

社会医療センターに関すること

【更新の方向性について】

- 社会医療センターも必要、現在地より移転

全体に関すること

【更新の方向性について】

- 建替は時間がかかる
- 労働センターは縮小し、現在地より移転
- あいりん地域内に移転がベター
- センターの移転、あの場所にある必要はない
- センター移転に伴うシェルター建替えの凍結
- センターとシェルターを隣接させた方がよい
- 労働福祉センターの機能を分離するの一案
- 労働福祉センターの機能を縮小(1/10)したうえで建て替え
- コンパクトな場所で運営できる方法
- 単身高齢者・障がいのある人など、安心してくらす地域として充実させてほしい
- 就労を軸にセンターの多機能化
- センターの移転をどうするかが議論の対象になったものが、徐々に移転というものが前提となってきた
- 朝、求人車両がいっぱい来てごみほかして、そのごみの後始末は?この地域住民のマナーが悪いと言われる・・・それは、今場所でもどこかに移転しようと同じこと
- このまちで生活していく中で、労働センターが住宅も含めて、一番大きな問題である
- まちが変わろうとした場合、この機能をどうするか、これは絶対失敗できない
- 駅前場所からこのまちの発展、また、子どもの声が聞こえるような、子どもがどんどん増えるまちをつくるように、みんなでしっかりと考えていきたい
- 労働福祉センターの機能はどんなものがあるか、その中で、何が地域の中に必要なのか
- 今の機能はあくまで必要
- この地域に住みたい人にとってのメリット、デメリットを共有することが大切
- 移転の前段階の共通認識が大事

【駅前の考え方】

- 駅前の総合開発というまちを解放する考えがあるのではない
- JR 新今宮西出口センター前、43号線沿いの再考。内容は思いつきません。
- 「まちづくり」と「戦略的活用」の意味が不明

【既存建物の耐震性能】

- センターの建替えは耐震性の問題があり必要

【情報の共有】

- 総合センターを歴史的に教える

【センター跡地について】

- 労働センター、医療センター、市営住宅跡地については、この町の中心となるので、よく検討して決める

【会議の進行について】

- 労働者・住んでいる人、それぞれのメリットは違うが、折り合いをつける具体的な議論が必要
- 議論を破綻させない
- 今後、十分な議論がされれば、その内容に従いたいと考えます
- 「地域住民の方々」という形でよく議論されますけども、実際に生きた人達がそこにいる
- 皆さんの権利を守るために聞く機会、しゃべる機会を与えるということ
- 労働者の人達の話もちゃんと聞かないといけない
- 当事者の方の思いをどうやって積み上げるか
- 情報格差、ギャップ、ずっと議論を積み重ねている人達とそうでない人達が一緒にスタートしているので、傍聴の方も含めて、そのギャップは大変なものがある
- 2.3.4回と回を重ねていくうちに、一定の方向性や一致点が必ず見えてくるだろう、傍聴の方も見守っていただきたい

市営住宅・住まいに関すること

【更新の方向性について】

- 住民と話し合って移転する
- 住宅に住んでいる方の意見をちゃんと聞いた方がよい
- 住宅の建替えは、あいりん地区内に建替える代替地があるのか、はっきり知りたい
- 住民がバラバラに、バスしかないような不便なところは行けない
- 自転車にも乗れない人やヘルパーを受ける人がうちの住宅では60~70%
- 絶対この近く、あいりん地区内に移転させてほしい

その他

【まちの現状について】

- 釜ヶ崎というまちは、社会的に必要
- この地域の実践(様々な支援)は、社会的に先駆的取組みは貴重
- 8000名以上の高齢の生活保護を受ける者が居る